

宿泊教室に向けて 5年生

先週、5年生教室前を歩いていると、5年生の各教室で、宿泊教室に向けての準備が着々と進められていました。そこでは、各グループでの出し物の練習をしていました。子供たちは、自分の役割を意識しながら、楽しみながらそして、真剣に練習していました。このように、グループで協力して準備や練習をすることで、友達と絆を深めることができます。また、出し物は、全て自分たちで創り上げることで、そこには所属意識や連帯意識が生まれます。



いよいよ今日25日から阿蘇青少年自然の家での2泊3日が始まります。豊かな自然の中で、たくさんの感動体験を共有してきたいと思っています。

学校百景②⑥ メッセージを伝える窓

先週、6年生の中庭側の窓には右写真のような掲示がされています。「宿泊教室行ってらっしゃい!」という文字が一つ一つ画用紙に書かれ、5年生にメッセージが向けられています。6年生は、5年生に宿泊教室に向けて、思いを伝えようと書いてくれたようです。この伝統は、



これまでの学校だよりも書いていますが、先輩から後輩へとしっかりと思いを託せていて、素晴らしい学校の伝統であり、学校文化であると思います。このメッセージを5年生がしっかりと受け取り、宿泊教室で多くのことを学んでほしいと思います。

「わくわく」チルドレン紹介

今回は、「eスポーツ」で活躍している帯西の子供を紹介し
ます。「eスポーツ」とは「エレクトロニック・スポーツ

(Electronic Sports)」の略で、電子機器を用いて行う娯楽、
競技、スポーツ全般を指します。海外でも数々の大会が開催さ
れており、プロ同士が勝敗を競い合っています。近年は日本でも
eスポーツが注目され、プロゲーマー・クラブチームが誕生
しています。3年生の有住比呂さんは、「全国都道府県対抗 e



スポーツ選手権2024SAGA ぶよぶよ部門小学生の部」の熊本代表として、出場
しました。有住さんは「ぶよぶよの GTR という技を磨いて、連鎖を伸ばして、勝利を
目指していきたいです!」と次への意欲を高めています。また、高齢者との e
スポーツの交流を紹介している NHK のニュース番組でも有住さんは登場して
いて、高齢者の生き甲斐づくりにも一役買いつつ、eスポーツの振興にもかか
わっています。